

言 頭 卷

若者が活躍できる作業環境を目指して



一般社団法人 全国コンクリート
圧送事業団体連合会
会長
長谷川 員典

本年度より(一社)全国コンクリート圧送事業団体連合会(略称「全圧連」)の会長として就任いたしました。新しい事業展開を求めるとの期待と責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。全圧連は、建設現場に搬送された生コンクリートを、コンクリートポンプ車を使用して油圧や機械的圧力により構造物の型枠内に圧送し打ち込む全国の専門工業者で組織されています。

このコンクリート圧送工事業に携わる圧送技能者は、建設機械のオペレーション技能と保守点検の知識だけでなく、取り扱う生コンクリートに関する知識や前工程である鉄筋工・型枠工、後工程となるコンクリート打設工などの関連業種との調整能力も必要となり、まさにコンクリート工事の中心的な役割を担う職業であります。全圧連では、良質のコンクリート構造物を社会に提供することをスローガンに、安全施工と技術・技能の研鑽のための各種講習に取り組みほか、国家資格である圧送施工技能士や登録コンクリート圧送基幹技能者の育成と発注者からの評価・活

用の実現に努めています。登録基幹技能者の現場起用が全国的に浸透するためには、発注行政のより一層の理解と推進が必要であると感じております。

わが国における当業界の作業環境は旧来から厳しい実態があります。朝は日の出前から機材等を準備していち早く現場に到着し、一度打設作業が始まればコンクリートを途中で止めて十分な休憩を取ることができず、重い鋼製の圧送用パイプやコンクリートが充填した重いホースを持ち運び、作業後はコンクリートポンプ車の洗浄を終えてから遅くに現場を離れるという作業スタイルが定着してしまっており、肉体的にも時間的にも過酷な作業環境が若年者の入職・定着を阻む大きな要因の一つとなっています。

東京五輪を間近に控え、建設需要の拡大に伴って技能労働者不足は顕在化しています。技能者の処遇改善と若年者の雇用の確保・拡大は全圧連にとっても喫緊の課題であります。シフト制などの導入により、まずは隔週でも週休2日制を業界で浸透させ、休日数の増加を図りたいと考えています。この実現には関連業界の理解と協力が必要不可欠でしょう。

また、わが国のコンクリート打設工事の手法は世界的に遅れており、アジアでも一番遅れていると考えます。技能労働者不足を補うための生産性の向上と作業環境の改善に向け、機械化で解決できることがあれば取り組むべきでしょう。超ロングブームの大型コンクリートポンプ車の規制緩和やディストリビ

ューターの採用など、省力化に優れた諸外国の打設工法を今後の建設工事で積極的に導入していくことで、作業性は著しく改善し労働災害のリスクも低減し、若い人材が入ってくるのが期待されます。

社会保険未加入対策については、コンクリート圧送工事業は技能労働者を直接雇用する企業がほとんどあるため、ほぼ会員企業の加入促進は終えたと感じております。今後は、法定福利費等の確保が公共・民間工事、得意先の規模を問わずどこまで浸透できるかが課題です。

地域的な格差が大きいことも課題です。比較的施工量が潤沢な大都市圏と公共工事依存型の地方部では、稼働状況に応じた各地ごとの受注単価の取受があつてしまるべきです。都市部以外の地方の意見を数多く聞き、必要な課題と向き合うことが業界の改革にとって重要だと思っております。また、業界の若い人の意見を聞く場を数多く持ち、次代の業界を支える若い人たちが何を考えているのか意見を吸い上げ、若い経営者・後継者層や若年の技能者たちが喜びと誇りを持って活躍できる業界に変えていきたいと考えています。

建設産業は国土の保全、災害等の応急復旧、国民の安全・安心・快適を守る基盤整備に欠くことのできない産業であります。若者が希望を持って入職できる環境整備に取り組むとともに、これまで以上に、技能労働者の定着や熟練技能の維持・継承、従業員の安全と健康を確保するための取り組みを進めていく所存です。